

ウクレレの組立の手引き

(注) 工具の取り扱いには、けがをしないように十分注意してください。
外箱の部品表の番号と別紙写真を参考にして下さい。

(4) ネックの取り付け (写真③参)

- I. ボディーが乾燥したら輪ゴム⑬をはずし、写真③を参考に、カッター等でボディーの囲いの余った木を取り除きます。木目に決して逆らわないでください。必ず写真③の矢印の方向へカッターを入れること。
- II. R部固定用治具⑮を取りはずします。取りはずし方は、カッター、ニッパ、ペンチ等で木目に逆らわないように、割るような感じではずすと簡単にはずれます。またこのR部固定治具⑮はもう使用しませんのでバラバラになっても構いません。
- III. 先ず、ネックの接着面に少し多目にボンドを流し込み、付属の円柱形のパーツ (パーツ表には載っていません) を、押し込んでください。
- IV. その後さらにネックの接着面に少し多目のボンドをつけ接着してください。
 - ・真横から見た場合、接着面のどこにもすき間のないように平行に接着してください。
 - ・しばらく、手でおさえていると良いでしょう。

(5) 指板の取り付け

- I. ネックの上に指板⑥をボンドで接着します。
 - ・簡単に思われますが、意外に重要です。ボディーとネックの付け根部分 (接着部) に12フレット (最終フレット) が来るように接着してください。
- II. 接着後手で強く押さえて (接着面のボンドがにじみ出るくらい) 密着させます。その後、輪ゴム⑬で止めて乾燥させてください。(乾燥後、輪ゴム⑬をはずします)

(6) ナット(上駒)とブリッジ(下駒)の取り付け (写真④参)

- I. 上駒⑦は指板⑥の上端 (糸巻側) にボンドで接着します。上駒⑦の向きは写真④を参考にして下さい。また、接着面に、バリがありましたらカッターで取り除いて置きましょう。
- II. ブリッジ (下駒) ⑥はボディー側にボンドで接着します。(下駒をブリッジにはめ込んでから)
 - ・取り付け位置はウクレレの側面図を参考に、上駒⑦から12フレットまでの長さとして12フレットから下駒⑥までの長さが等しくなるように、ものさし等で、計ってから目じるしをつけ接着してください。接着後、ビス (木ネジ) で、固定します。
 - ・下駒⑥はブリッジに接着してもしなくても構いません。紛失の心配がある場合は少量のボンドで止めてください。

(7) 仕上げ(充分時間をかけてください)

- I. ペーパーがけの前にカッター、ナイフ等で最終段階のバリとりをやりましょう。ペーパーかけが楽になります。
 - ※アドバイス! ボディーとネックの付け根部分など少し削るといい音がします。ネックの強度の問題もありますのでやりすぎないように。(ボディーをいかに鳴らすかです。いろいろと工夫して下さい)
- II. サンドペーパーの目の荒い方でウクレレ全体をみがいてください。(指板にはかけないこと)
 - ・下塗り用塗料 (ラッカー・サンディングシーラー) が乾いたらサンドペーパー (目のこまかい方) で研磨を2~3回くりかえし、上塗り用塗料 (クリア ラッカー) をうすく塗り、やわらかい布でみがき2~3回くりかえします。

(1) 補強枠の接着 (写真①参)

- I. R部固定用治具⑮を側面板③に取り付け (出荷時、とりつけてあります)、補強枠⑨ (付木) を側面板③の内側に、ボンドで接着します。
 - ・側面板③のラウンドに合わせて、ボディー上部、左右とボディー下部左右に、計4ヶ所接着します。
 - ・補強木⑨ (付木) が長すぎる場合は、ハサミやカッター等で切断して下さい。
 - ・接着した面に、上部に表面板①、下部に裏面板②が来ますので、補強木⑨は側面板③のフチギリギリに、横から見た場合平らになるように接着してください。
- II. 接着後、数ヶ所を洗濯バサミ等ではさみ、数時間乾燥させます。

(2) カ木の接着 (写真②参)

- I. 表面板①の上に (1) で作成した側面板③をのせ (まだ接着しない)、側面板③の内側にえんぴつで型どりを行ってください。
 - ・この時にセンター合わせを行なってください。側面板③にはネック側とボディーエンド側にラインが入ってます。表面板①と裏面板②には凹の印が入っています。このラインと凹印を合わせてください。
 - ※センター合わせ……あくまでも目安です。側面板③が表面板①よりも外へはみ出さないように、また、サウンドホールが中心にくるように合わせてください。
- II. 型どりが出来ましたら、カ木⑧を表面板①のラインの上 (出荷時ラインはひいてあります) に、また、型どりを行なったラインからも左右に出ない様に、バランスよくボンドで接着してください。

- III. 同様に、裏面板②もIと同様にセンター合わせをし、えんぴつで型どりを行ない、カ木⑧を接着してください。

注) 写真のカ木⑧はそれぞれ長さが異なりますが、現在梱包されているものは2種類の長さに変更されています。
注) 写真のカ木⑧は表面板①と裏面板②に2つつつ接着します。

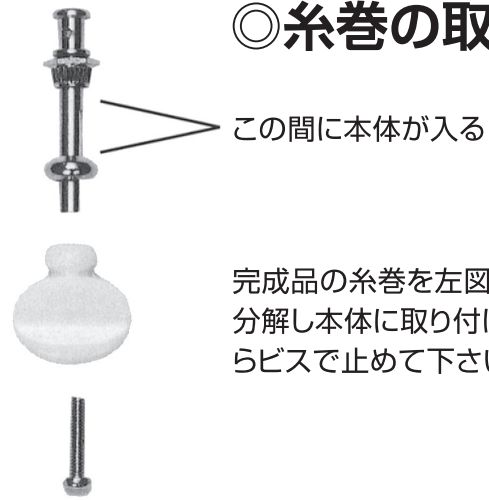
(3) ボディー(本体)の組立

- I. 表面板①と裏面板②を、側面板③に接着しますが、接着面にバリ (乾燥した接着剤等のかたまりやデコボコの事) がありませんようにボディーにすき間が出来てしまいます。カッター・サンドペーパー等を使っていねいに取り除き平らにしてください。
- II. バリが取れて平らになったらボンドで接着します。
 - ・表面板①と裏面板②をまちがえないようにしてください。側面板③のネックを取り付ける部分の穴のあいている方を上にした方に表面板①が来ます。
- III. 接着後、ボディーの数ヶ所を付属の輪ゴム⑬でかなりきつく止め、雑誌、辞書等をのせ完全に乾燥させます。

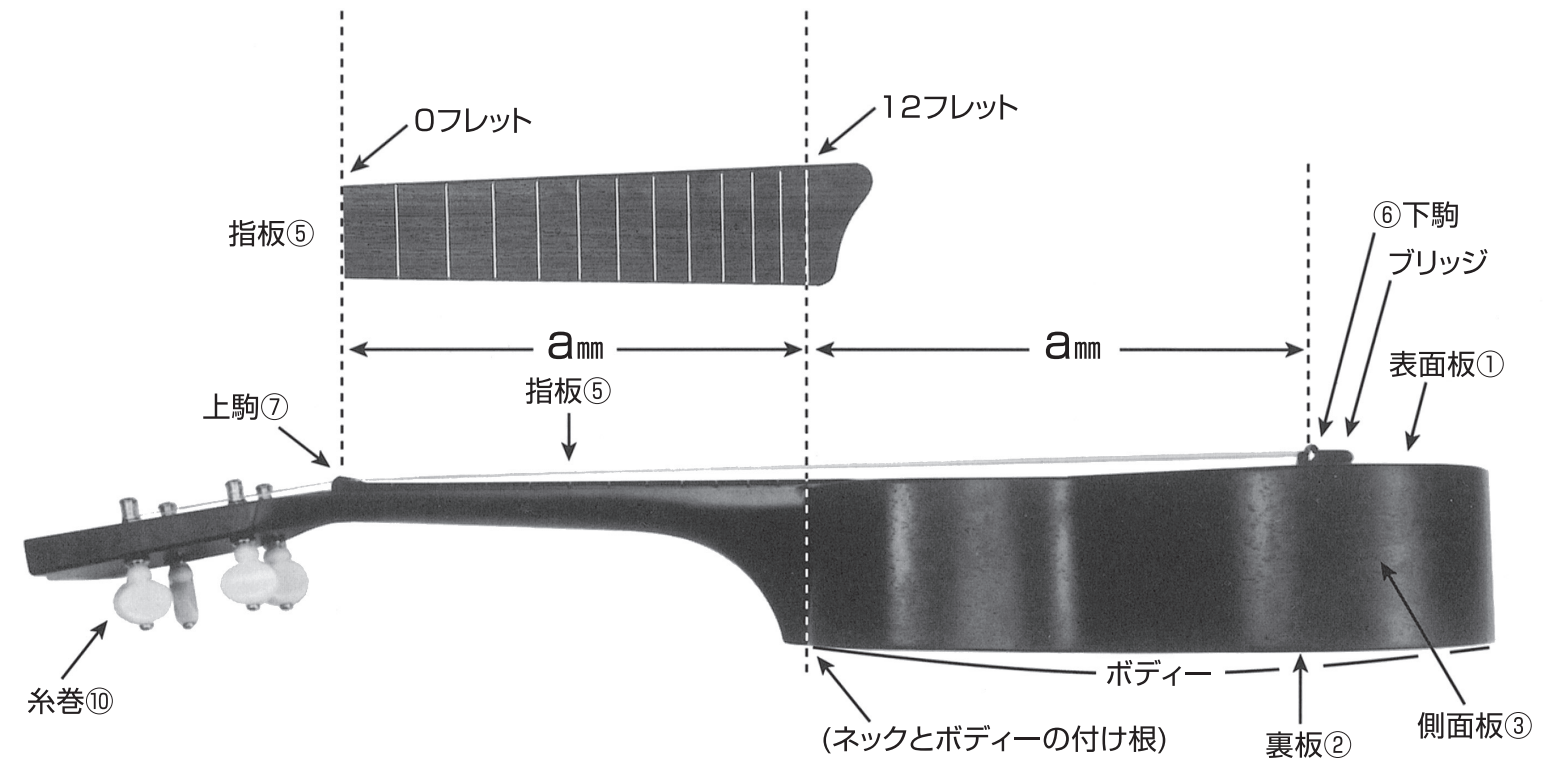
用意するもの

- ・筆記具、えんぴつ等
- ・カッターナイフ、彫刻刀
- ・プラスドライバー
- ・洗濯バサミ 数ケ
- ・ものさし、メジャー
- ・塗料 ラッカー、サンディング・シーラー
- ・塗料 クリアラッカー

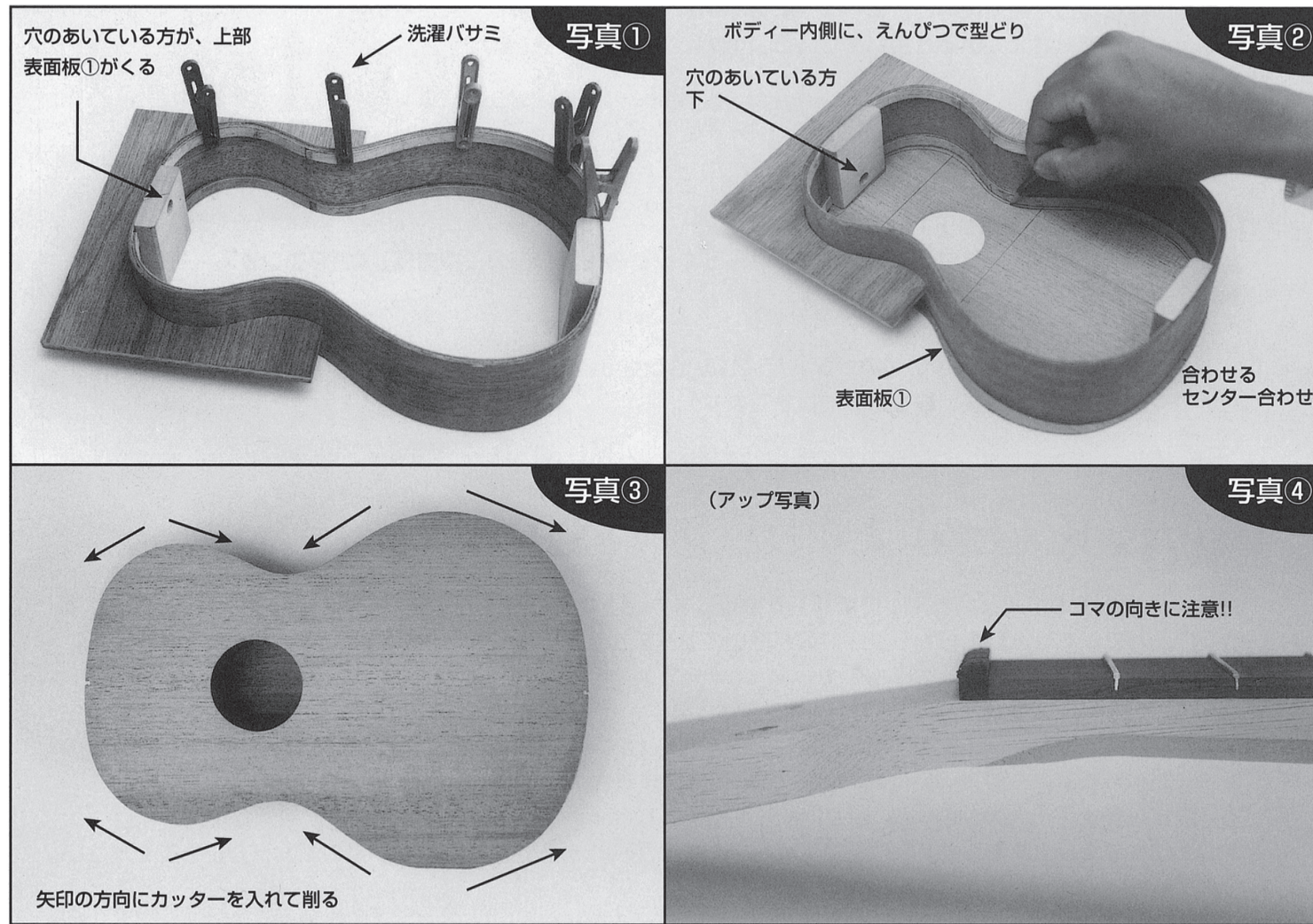
◎糸巻の取り付け方



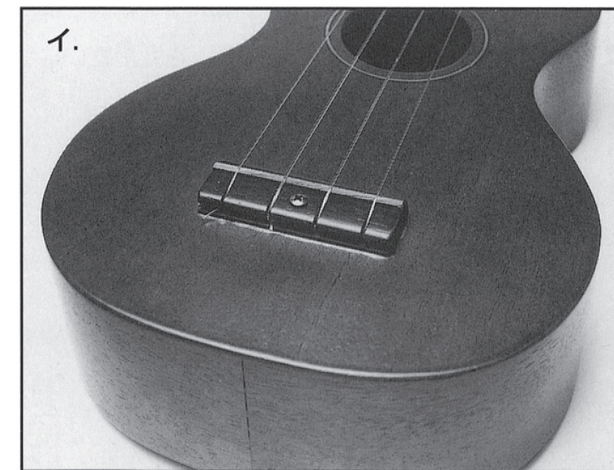
ウクレレの側面図



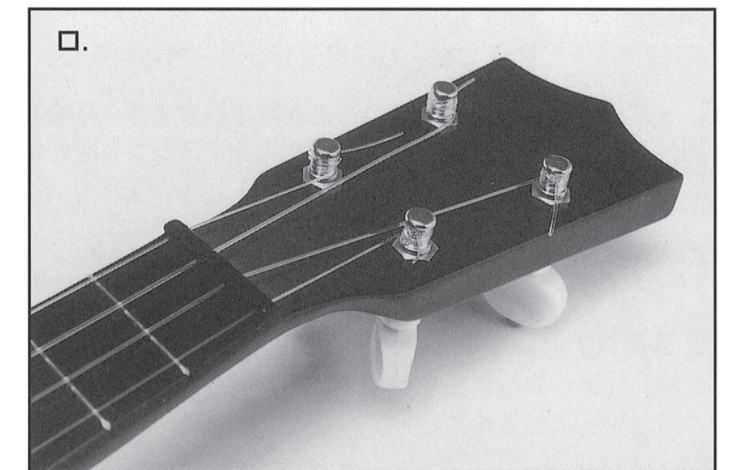
- 12フレット目をボディーの付け根に合わせます。
- 0フレットから12フレットまでと同じ長さになるように下駒の位置を合わせブリッジを表面板に接着します。



◎弦の取り付け方



イ.色がついていない弦の一方の端に結び玉を作り、ブリッジの溝に差し込んで下さい。



ロ.ウクレレを演奏する状態で持った時、上部の糸巻は左巻、下部の糸巻は右巻で音が上がるように取り付けして下さい。

